

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年8月11日

上場会社名 日本サード・パーティ株式会社
 コード番号 2488 URL <http://www.itp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 和昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 高島 隆明
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月13日

上場取引所 JQ

TEL 03-5782-7600

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 21年3月期第1四半期 | 1,399 | — | △10 | — | 58 | — | 28 | — |
| 20年3月期第1四半期 | 1,364 | 11.2 | 113 | 106.4 | 139 | 273.0 | 70 | 225.4 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期第1四半期 | 479.68 | — |
| 20年3月期第1四半期 | 3,537.60 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|-------------|-------|---|-------|---|--------|-----|-----------|--|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | ％ | 円 銭 | 円 銭 | |
| 21年3月期第1四半期 | 3,908 | — | 2,610 | — | 66.8 | — | 44,165.69 | |
| 20年3月期 | 4,076 | — | 2,681 | — | 65.8 | — | 45,209.07 | |

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 2,610百万円 20年3月期 2,681百万円

2. 配当の状況

| (基準日) | 1株当たり配当金 | | | | |
|------------|----------|--------|--------|----------|----------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 年間 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 20年3月期 | — | — | — | 1,450.00 | 1,450.00 |
| 21年3月期 | — | — | — | — | — |
| 21年3月期(予想) | — | — | — | 2,000.00 | 2,000.00 |

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期累計期間 | 3,000 | — | 300 | — | 320 | — | 176 | — | 2,967.26 |
| 通期 | 6,660 | 11.0 | 700 | △2.3 | 730 | 21.4 | 400 | 20.7 | 6,743.77 |

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 60,156株 20年3月期 60,156株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1,051株 20年3月期 842株
 ③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 59,237株 20年3月期第1四半期 20,052株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記の業績予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日）における我が国経済は、サブプライムローン問題による金融市場の混乱や米国経済の減速、更には原油・原材料高騰による世界的な物価上昇等、企業業績は前期に比べ不透明感をましてあります。また当社が属するIT情報サービス業界では、ソフトウェア開発や情報処理・運営などアウトソーシングビジネスを中心に需要の拡大が継続しておりますが、ユーザからのコスト削減要求と被雇用社員の待遇改善などから人材派遣法の見直しが行なわれ始めるなど業績を低下させる不安要素が増大してきております。このような急激な経済環境の変化時には、海外企業は常として事業の運営組織や人員配置など大幅な事業再構築を行ってまいります。これらの海外IT企業を取引先とする当社ではリストラクチャリングの受け皿の機能として、これらの企業の事業再構築プロジェクトへの参画、海外ソフトウェアメーカーとのアライアンスの提携等、積極的な営業活動の推進と、93名の新人の採用や教育施設・セキュリティ機器の増設など将来の収益源となる投資を積極的に行いました。

以上の結果、当第1四半期会計期間の売上高は1,399,041千円（前年同期比2.5%増）となりました。営業利益につきましては、教育訓練期間として収益に寄与しない新卒従業員の人件費計上、教育訓練費用や教室の増床に伴う一括償却資産の経費計上による経費の増加により10,409千円の営業損失となりました。しかしながら営業外損益において、昨年来の円高がこの第1四半期に円安に転じたことにより為替差益として、66,786千円計上したことで、経常利益は58,886千円（同57.8%減）となり四半期純利益は28,415千円（同59.9%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産・負債・純資産の状況

当第1四半期末の総資産は、前事業年度末と比し、168,146千円減少し、3,908,805千円となりました。これは主に法人税等の支払いによる現金及び預金の減少によるものであります。負債につきましては、前事業年度末と比し、97,028千円減少し、1,298,392千円となりました。これは主に買掛金の減少によるものであります。また、純資産の部においては、71,117千円減少し、2,610,413千円となりました。これは主に四半期純利益28,415千円の計上による増加に対し、配当金の支払による減少によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物は（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比し、196,144千円減少し、1,734,212千円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間において営業活動の結果、使用した資金は、155,035千円でありました。これは、主として税引前四半期純利益58,886千円に対し、法人税等の支払い130,756千円、仕入債務の減少62,977千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間において投資活動の結果、使用した資金は、4,009千円でありました。これは、主として有形固定資産の取得による支出4,058千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期会計期間において財務活動の結果、使用した資金は、99,596千円でありました。これは、配当金の支払い86,068千円及び自己株式の取得による支出13,527千円によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

今後の経済環境につきましては、米国経済の失速、原油・原材料価格の高止まり、インフレ懸念、企業業績の低下など景気の先行きにつきましては引き続き留意が必要と思われる。当社の所属する情報サービス産業におきましては、法令順守対策を元としたセキュリティ対策や企業価値向上に向けた設備投資が期待されますが、顧客からの価格や品質に関する要請はさらに強まるものと想定されます。当社は、このような顧客からの保守・開発コスト低減・効率化要求など顧客からの要求の変化に対応できる社内体質を3年前より構築しており今後もこの施策を強力に推進して参ります。また今後の業績につきましても、当第1四半期の業績は先行投資の為、一時的に低下しておりますが、当期の計画に比し経常利益、四半期純利益は計画を上回っております。従いまして、現時点では、当期（平成21年3月期）の業績予想を変更いたしておりません。

*上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
重要性が乏しいため記載を省略しております。

- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
 - ① 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。
 - ② 通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、原材料については月次総平均法による原価法、仕掛品については個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、原材料については月次総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）、仕掛品については個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この変更による当四半期の損益への影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日) | 前事業年度に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日) |
|--------------|-----------------------------|-------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,734,640 | 1,930,847 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,073,771 | 1,059,233 |
| 原材料 | 50,399 | 93,795 |
| 仕掛品 | 12,628 | 1,020 |
| その他 | 183,980 | 214,609 |
| 貸倒引当金 | △3,967 | △3,917 |
| 流動資産合計 | 3,051,453 | 3,295,590 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 228,216 | 152,055 |
| 無形固定資産 | 17,582 | 18,596 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 612,539 | 611,694 |
| 貸倒引当金 | △985 | △985 |
| 投資その他の資産合計 | 611,554 | 610,709 |
| 固定資産合計 | 857,352 | 781,362 |
| 資産合計 | 3,908,805 | 4,076,952 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 187,490 | 250,468 |
| 未払法人税等 | 6,589 | 140,107 |
| 賞与引当金 | 107,289 | 188,082 |
| 役員賞与引当金 | 5,750 | 23,000 |
| その他 | 504,576 | 313,885 |
| 流動負債合計 | 811,696 | 915,542 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 382,871 | 374,667 |
| その他 | 103,824 | 105,211 |
| 固定負債合計 | 486,695 | 479,878 |
| 負債合計 | 1,298,392 | 1,395,421 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 795,475 | 795,475 |
| 資本剰余金 | 647,175 | 647,175 |
| 利益剰余金 | 1,234,232 | 1,291,822 |
| 自己株式 | △66,469 | △52,941 |
| 株主資本合計 | 2,610,413 | 2,681,530 |
| 純資産合計 | 2,610,413 | 2,681,530 |
| 負債純資産合計 | 3,908,805 | 4,076,952 |

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 当第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日) |
|--------------|---|
| 売上高 | 1,399,041 |
| 売上原価 | 1,239,204 |
| 売上総利益 | 159,836 |
| 販売費及び一般管理費 | |
| 給料及び賞与 | 60,642 |
| 賞与引当金繰入額 | 6,664 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 5,750 |
| 退職給付引当金繰入額 | 789 |
| その他 | 96,399 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 170,245 |
| 営業損失(△) | △10,409 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 2,548 |
| 為替差益 | 66,786 |
| その他 | 108 |
| 営業外収益合計 | 69,443 |
| 営業外費用 | |
| 自己株式買付手数料 | 147 |
| 営業外費用合計 | 147 |
| 経常利益 | 58,886 |
| 税引前四半期純利益 | 58,886 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 2,229 |
| 法人税等調整額 | 28,242 |
| 法人税等合計 | 30,471 |
| 四半期純利益 | 28,415 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日) |
|----------------------|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純利益 | 58,886 |
| 減価償却費 | 8,937 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 50 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △80,792 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 8,203 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △17,250 |
| 受取利息 | △2,548 |
| 為替差損益 (△は益) | △62,831 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △14,538 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | 31,788 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △62,977 |
| 前受金の増減額 (△は減少) | 33,579 |
| 預り金の増減額 (△は減少) | 53,472 |
| その他 | 19,777 |
| 小計 | △26,240 |
| 利息の受取額 | 1,961 |
| 法人税等の支払額 | △130,756 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △155,035 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △4,058 |
| その他 | 49 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △4,009 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 配当金の支払額 | △86,068 |
| 自己株式の取得による支出 | △13,527 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △99,596 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 62,497 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △196,144 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,930,356 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,734,212 |

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

| 科目 | 前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期) |
|------------------|-------------------------------|
| | 金額(千円) |
| I 売上高 | 1,364,692 |
| II 売上原価 | 1,094,733 |
| 売上総利益 | 269,958 |
| III 販売費及び一般管理費 | 156,945 |
| 営業利益 | 113,012 |
| IV 営業外収益 | 27,413 |
| V 営業外費用 | 731 |
| 経常利益 | 139,694 |
| 税金等調整前 四半期純利益 | 139,694 |
| 税金費用 | 68,758 |
| 四半期純利益 | 70,935 |

| | 前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期) |
|-----------------------|-------------------------------|
| 区分 | 金額(千円) |
| I 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純利益 | 139,694 |
| 減価償却費 | 7,683 |
| 貸倒引当金の増減額(減少:△) | △293 |
| 賞与引当金の増減額(減少:△) | 94,956 |
| 退職給付引当金の増減額(減少:△) | 4,367 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(減少:△) | 1,710 |
| 役員賞与引当金の増減額(減少:△) | 5,750 |
| 受取利息 | △3,616 |
| 支払利息 | 731 |
| 為替差損益(差益:△) | △14,979 |
| 売上債権の増減額(増加:△) | 23,932 |
| たな卸資産の増減額(増加:△) | △1,995 |
| 仕入債務の増減額(減少:△) | 26,941 |
| 未払金の増減額(減少:△) | △20,639 |
| 未払費用の増減額(減少:△) | 8,430 |
| 前受金の増減額(減少:△) | 11,265 |
| その他 | 25,547 |
| 小計 | 309,484 |
| 利息の受取額 | 3,290 |
| 利息の支払額 | △731 |
| 法人税等の支払額 | △179,667 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 132,375 |
| II 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,918 |
| 差入保証金の差入れによる支出 | △6 |
| 差入保証金の返還による収入 | 10 |
| その他 | 832 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,081 |
| III 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 配当金の支払額 | △70,182 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △70,182 |
| IV 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 14,979 |
| V 現金及び現金同等物の増加額(△減少額) | 75,091 |
| VI 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,786,055 |
| VII 現金及び現金同等物の期末残高 | 1,861,147 |